

第 8 9 回日本建築学会北海道支部研究発表会 論文・報告提出方法

【重要】発表登録の方法

郵送による提出物はなくなり、電子投稿のみとなっております。

- 例年同様、論文集CD-ROM化に伴い以下の点につきましてご留意いただきますようお願いいたします。
 1. 原稿はPDFファイルによる提出を行っていただきます。支部へ直接の持ち込みはできません。
 2. 掲載登録料は事前に指定銀行口座に振り込んでいただきます。
 3. 発表会当日のプレゼンテーションではPCプロジェクターのみ使用可能です。各自PCをご持参ください。

●原稿種別

A原稿（講演研究論文）		内容は、目的・方法・結論を明確にして完結させたもので、指定する執筆要領に従い、4、6、8頁の何れかの頁数で作成し、報告集に掲載して必ず講演発表し、かつ討論を中心に進める。
B原稿（資料研究論文）		内容は、目的・方法・結論を明確にして完結させたもので、指定する執筆要領に従い4頁で作成し、報告集にのみ掲載し、講演発表は行わない。
C原稿（計画・技術報告）		内容は、計画提案、技術提案、失敗事例など完結したものだけでなく、結論に至る前のものも対象とし、目的や方法そのものについて討論することに重点をおく。標題、著者名欄等を除き、本文の表現形式は自由とし、2頁または4頁で作成し、報告集に掲載して必ず講演発表と討論を行う。
D原稿	D1(委員会報告)	執筆要領等はA原稿に準じる。
	D2(指名論文, 技術賞報告)	執筆要領等はA原稿に準じる。掲載登録料は無料。

●提出要項および発表会の案内

○論文・報告原稿等提出（発表登録システム）

提出締切：2016年 4月 14日（木）17:00（厳守）

<u>①発表登録システムによる提出</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表申込（タイトル、著者名等） ・原稿PDFファイル ※発表登録システムのURLは、支部研ホームページに掲載します。
<u>②登録料の振込み</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載登録料を原稿提出前に銀行振込してください。

●支部研究発表会

開催日	2016年 6月 25日 (土)
内 容	・一般研究発表会 ・特別企画： 会長講演 ・企業等技術パネル展
会 場	北海道職業能力開発大学校 (所 在 地：〒047-0292 北海道小樽市銭函3丁目190番地) (HPアドレス： http://www3.jeed.or.jp/hokkaido/college/index.html)
交 通 手 段	電車：札幌駅から銭函駅まで22分 (区間快速) , JR銭函駅から徒歩15分 (HP： http://www3.jeed.or.jp/hokkaido/college/general/access.html) (さっぽろえきバスnavi http://ekibus.city.sapporo.jp/ 等もご確認下さい) ※ マイカーでの来場はご遠慮ください
懇親会	懇親会は特別企画終了後、小樽ビール工場 (会場より徒歩4～5分) にて開催します。 詳細は、建築学会北海道支部HPをご覧ください。

●応募規定

1. 応募資格

- (1) 建築学の総合性に鑑み、本会会員 (正会員, 準会員) だけでなく広く一般の方々が応募できます。特に、一般の実務に携わる方の投稿を期待いたします。
- (2) ただし、1) 筆頭著者が会員外の場合、共著者に本会会員が1名以上含まれている必要があります。
2) D原稿のD1 委員会報告 (特定課題研究) 及びD2 指名論文 (支部が依頼した論文) は、発表者の会員資格を問いません。
- (3) なお、筆頭著者とは、AおよびC原稿では講演発表者を指します。

2. 論文・報告内容

論文・報告の内容は以下の条件を満たして下さい。

- (1) 建築に関する学術・技術・芸術分野の最近の研究 (A, B原稿) , および計画提案報告・事例研究 (C原稿) 等とし、未発表のものであること。
- (2) 論文 (A, B原稿) の構成は、目的, 方法, 結果の順, また報告 (C原稿) の構成は、目的, 方法 (または経過) , 結果 (または課題) の順とする。
- (3) 継続研究に当たっては、最近における発表の掲載誌名, 掲載年月, 巻・号数, 標題, 著者名等を必ず前書きして下さい。他学会論文に発表したものも同様とします。

3. 論文・報告の採否

- (1) 応募規定に照らして不適当なものは採択しません。
- (2) 提出原稿の採否決定は支部研究発表会実行委員会がおこないます。

4. 講演・掲載発表

- (1) 発表題数は一人1題とします。ただし、B原稿 (資料研究論文) については一人1題までAまたはC原稿との重複発表を可とします。この制限は筆頭著者に対するもので、共著者には制限はありません。委員会報告, 指名論文および技術賞報告は除きます。
例) 可 : A, B, C, A+B, B+C 不可 : A+A, B+B, C+C, A+C, A+A+A, C+B+B
- (2) 共著者による代理発表は、やむを得ない理由の場合のみ司会者の判断により認めます。
- (3) 講演発表会 (A, C原稿) の進行は司会者に一任されており、討論が中心になりますので、発表は要点を手短かにまとめて下さい。
- (4) 研究発表会の部門のうち、「建築計画」「農村計画」「都市計画」「建築社会システム」「構造」は、幅広い研究討論を進めるために、前回と同様に同一セッションで発表を行います。
- (5) 優秀な若手発表者に優秀講演奨励賞を授与します。

5. 掲載登録料

(1) 掲載登録料は銀行振込にてお支払い下さい。

登録料等の振込先： **北洋銀行北七条支店 普通預金 0087146**

(一社) 日本建築学会北海道支部

(2) 掲載登録料は原稿 1 題につき筆頭著者に対してのみ課せられます。

(3) 原稿提出時までに筆頭著者が入会手続きをした場合は、会員として扱います。

区分	掲載登録料
a. 筆頭著者が本会会員の場合 4 頁迄	1 題につき6,000円
b. 筆頭著者が会員外の場合 4 頁迄	1 題につき8,000円

ただし、A原稿において6頁または8頁の原稿とする場合には、**2頁増すごと**に上記金額から、**会員：2,000円、会員外：3,000円の増額**となります。なお、指名論文および技術賞報告については無料とします。掲載登録料の振込口数が多い方は、できましたら、北海道支部事務局まで振込み対象論文のリストをお知らせください。

●執筆要領等

1. 論文・報告原稿執筆要領

(1) 論文・報告原稿は、別紙の「原稿テンプレート」を参考に作成して下さい。

原稿1題は以下のA, B, C各原稿の規定に従って作成すること。

A原稿	本文は10ptの活字を使用すること。本文一行の文字数は46文字（2段組の場合は22文字、中央部に2文字分のスペースを入れる）とし、1頁目は38～42行、2頁目以降は46～48行で作成すること。1論文当たりの頁数は4, 6, 8頁のいずれかとする。
B原稿	作成要領は上記のA原稿と同一とするが、1論文当たりの頁数は4頁のみとする。
C原稿	1報告当たりの頁数は2または4頁のみとする。原稿書式はA, B原稿に準じるが、1頁目の上部（表題等）と下部（英文表題等）、および1頁目の下部（所属等）が原稿書式に従っていれば、本文のレイアウトは自由とする。
D原稿	D1, D2ともA原稿の形式に従うこと。

(2) 執筆上の注意

- 標題：和文題目は第1頁の最上部第1行の左やや中央寄りに、本文より大きな文字（12pt程度）で書き入れて下さい。また、英文題目は第1頁下部の所定の位置（別紙「原稿テンプレート」を参照）に記入して下さい。
- 会員種別・著者名：会員種別・著者名は和文題目の右側に、別紙の「原稿テンプレート」に従って記入して下さい。連名の場合は筆頭著者を先頭に列記し、○をつけて下さい。また、最下部の英文題目の右側位置に、著者の氏名を英文で姓、名の順に記入して下さい。連名の場合は筆頭著者の後にet al. を記入して下さい。
- 発表部門：和文題目の下に別紙「発表部門別分類一覧」から選択した「部門」と「細分類」の分類番号と字句を記入して下さい（記入例：2. 構造-4. 基礎構造）。
- キーワード：発表部門の下に和文キーワードを6個以内で記入して下さい。
- 勤務先（在学校）・職名・学位：最終頁の最下部に著者（連名の場合は著者全員）の所属等を和文と英文で記載して下さい。

(3) 原稿作成上の注意

- 原稿は指定された余白を厳守して本文枠から絶対にはみ出さないように記入して下さい。
- PDF化した後に印刷内容を必ずご確認下さい。

(4) 図表および写真

- 印字が鮮明であること、線が細すぎないこと、文字が小さすぎないこと、網掛けやグラデーションを多用しすぎないこと、に留意して図表を作成して下さい。
- 図表および写真はカラーも可とします。

2. 発表登録システム入力方法

※ 例年、入力の間違いが見られます。投稿前に今一度、入力内容をご確認ください。

(1) 原稿の種別

原稿の種別 (A, B, C, D1, D2) のいずれかをプルダウンメニューでお選び下さい。

原稿の総ページ数を入力してください。

(2) 掲載希望部門

報告集は、A, B, C の原稿種別ごとに編纂され、なおかつ、部門別に編集されます。各原稿の掲載希望部門をプルダウンメニューでお選び下さい。ただし、プログラム編成等の都合で掲載部門を変更する場合があります。

(3) 論文・報告題目および著者

欄内に論文・報告題目を正確に入力してください。筆頭著者および共同著者の会員種別・会員番号・氏名を記入してください。各著者の氏名は、姓と名とをそれぞれの欄に記入してください。

(4) キーワード

当該原稿に記載したキーワードをすべて、キーワード記入欄に記入してください (6つ未満でも可)。

(5) 筆頭著者連絡先

勤務先・学校名、部課・専攻、学部、学科、郵便番号、住所、TEL、FAX (任意)、E-mailを入力してください。

(6) 掲載登録料

入金日、振込名義 (全角) を入力ください。振込口数をプルダウンメニューでご指定ください。

(7) 当該論文の投稿回数

すでに論文を投稿済みで、期限内に重複して投稿する場合は、投稿回数をご指定ください。

(8) 研究報告集の配布・頒布

研究報告集CD-ROMは筆頭著者に1枚進呈する他、一般に実費頒布をおこないます。頒布予定価格は、会員価格3,000円、一般価格4,000円 (税込) です。

(9) 研究報告集 CD-ROM の受け取りについて

「a. 組織連絡幹事から受け取る」を希望された方は、下記に示す連絡幹事からお受け取りください。

組織名	連絡幹事	電子メール
北海道大学	森 太郎	mori.taro@eng.hokudai.ac.jp
室蘭工業大学	岸本 嘉彦	kisimoto@mmm.muroran-it.ac.jp
北海学園大学	串山 繁	kusiyama@arc.hokkai-s-u.ac.jp
北海道科学大学	前田 憲太郎	maeda@hus.ac.jp
札幌市立大学	片山 めぐみ	m.katayama@scu.ac.jp
北翔大学	千里 政文	chisato@hokusho-u.ac.jp
北海道職業能力開発大学校	駒木 定正	komaki@hokkaido-pc.ac.jp
釧路工業高等専門学校	西澤 岳夫	nisizawa@archi.kushiro-ct.ac.jp
北方建築総合研究所	馬場 麻衣	baba-mai@hro.or.jp

●問い合わせ先

日本建築学会北海道支部事務局

〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1 北海道建設会館6階

Tel : 011-219-0702

Fax : 011-219-0765

E-mail : aij-hkd@themis.ocn.ne.jp